

評価細目の第三者評価結果 (保育所、地域型保育事業)

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	園内への掲示・パンフレットへの掲載等を通して法人および園の理念を周知している。職員・利用者に対してはそれぞれにわかりやすいよう工夫して伝えており、開設3年目を迎え、その浸透を実感している。

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	地域の私立園長会への参加、行政との関係構築を通して情報の収集に努めている。法人からの指導・指示を地域に即した形に変換することで適切な運営となるよう取り組んでいる。
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	財務状況の向上、人材確保等の課題を抽出しており、法人と課題をすり合わせながら改善に努めている。行政・関係機関と連携し、「地域一番園」を目指し、園や職員の特長を理解してもらえよう日々の運営にあたっている。

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	法人が描く構想を基に理念の浸透と保育の質の向上を見据えた運営展開に努めている。職員の働きやすさ、子どもの自主性を尊重した保育の実践に対しては長期のスパンをもって着実に歩めるよう取り組んでいる。
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	法人理念に沿いながら「保育全体の計画」が立案されている。新年度を迎えるタイミングで全職員に配布し、園の幹となるよう共有化を図っている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	月・週単位の指導計画において常に振り返りを実施し、全体およびクラスごとに改善と修正を図るよう取り組んでいる。日々の保育記録においても自己評価がなされており、検証する風土が築かれている。
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	行事計画の早期周知、週案の掲示等保育方針・内容を理解してもらえよう努めている。クラスだよりでは、目標や保育のねらいについて保護者にわかりやすい表現を用いて記載しており、保護者と一体となって保育が進められるよう取り組んでいる。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	法人理念・保育全体の計画に沿いながら、職員会議等を利用し、管理職だけでなく職員全体で改善を図るよう努めている。目標管理の導入など職員の意識向上を保育の質の向上に繋げるよう取り組んでいる。

<p>I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	<p>b</p>	<p>今年度は福祉サービス第三者評価を受審するなど積極的な検証に努めている。保育全体の計画や年間指導計画に対して年度末に評価や反省を付すことを検討している。</p>
--	----------	--

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。</p>		
<p>Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p>	<p>a</p>	<p>組織図の策定、運営規程への各職種の役割記載等を通じて職責を明示している。給与体系等においても方針を明確にしており、属人的な保育ではなく、組織的に進める方策がとられている。</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>コンプライアンスに関して法人内研修の実施、加除式の専門書設置など最新の情報を取得できる環境が整えられている。また、専門家への相談窓口も設置されるなど適切な措置がとれる体制も整備されている。</p>
<p>Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
<p>Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	<p>a</p>	<p>新年度を迎えるにあたり、職員会議において理念・方針に加え、心掛けてほしいことを書面にし、説明している。チームとしての意識を醸成し、安全・安心な運営がなされるよう園を指揮している。</p>
<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	<p>a</p>	<p>職員からの提言や意見に対しては、迅速な対応に努めており、信頼関係の構築を重んじた運営にあたっている。また意見箱や行事後のアンケートを実施し、利用者からの声にも耳を傾け、運営に活かすよう取り組んでいる。</p>

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	<p>a</p>	<p>恵まれた立地・安定した運営を活かし、行政とも連携しながら人材確保に取り組んでいる。ボランティアの受け入れから職員採用に繋げるなど地道な取り組みが成果を生んでいる。</p>
<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>就業規則等諸規程が設置されており、就業環境の整備がなされている。目標管理制度の導入により職員モチベーションアップと職員ごとの職務の徹底を図っている。大きな変革ではなく、着実な・継続的な指導が実を結ぶことを認識し職員育成にあたっている。</p>
<p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	<p>a</p>	<p>有給休暇および時間外労働の管理が書式によりなされている。休日・休暇の取得にあたって希望を考慮し、職員間の格差を是正し、働きやすい職場となることが意識されている。</p>
<p>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>年度初めの職員会議等を通じて職員のあるべき姿について書面・口頭での説明にあたっている。子どもの自立をサポートできる職員の育成に尽力しており、園全体の保育の確立に繋がるよう取り組んでいる。</p>

Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	法人においては知識の習得、園においてはリスクマネジメントを中心に職員の研鑽が図られている。また座学にこだわらない方針により法人内他園への見学に参加しており、法人のスケールメリットを活かした取り組みがなされている。他園・他地域を良い刺激として保育の質の向上を図る本取り組みから保育に良いものは柔軟かつ積極的に取り入れていく貪欲な姿勢を読み取ることができる。
Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	法人において研修機会や内容に対するアンケートが実施されている。結果を反映した研修計画等が立案されることが期待される。
Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	オリエンテーションの実施、心構えの伝達等実習生の受入体制が整備されている。近隣に学校が所在していることから多くの受け入れにより後進の育成に貢献できるよう努めている。

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	法人ホームページには、決算報告、現況報告等の書面が公開されており、園の概況も詳細に記されるなど、誰もが確認できる環境が整備されている。また園前には掲示板が設置されており、職員・ボランティアの募集やイベント時の集客等に活用がなされるなど立地を活かした取り組みがなされている。
Ⅱ－３－（１）－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	法人にて経理規程が設置されており、運用範囲を含め、適切な財務処理がなされるよう規定されている。また財務だけでなく、組織コンプライアンス規程の定めにより、法令遵守を意識した運営がなされるよう体制が構築されている。

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	地域子育て支援の一環として「みんなの広場」と題し、ベビーマッサージ等バラエティに富んだ企画により地域交流を育んでいる。高齢者施設への訪問が複数回行われており、地域の一員として積極的な活動がなされている。
Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	学生の職場体験を中心に受け入れがなされている。今後は更なる交流を目指し、シニア人材の活用や地域の関係機関を利用していくことを思案している。
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ－４－（２）－① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	公的機関からのお知らせを園内に掲示するなど利用者への情報提供に取り組んでいる。地域交流から地域連携へと幅を広げるべく運営の進捗に努めている。
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ－４－（３）－① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b	子育て支援事業「みんなの広場」参加者に対して子育て相談を実施するなど有する専門性の活用に努めている。近隣との友好的な関係性を維持し、地域への貢献が広がるよう取り組んでいる。

<p>Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>子育て支援事業として「みんなの広場」を開催しており、フラワーアレンジメント、ベビーマッサージ等多様な企画が催されている。</p>
--	----------	---

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施
Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	職員の言動や行動については、法人により規範が定められており、研修等を通じて周知を図っている。子どもの人権の尊重は無論、主体性を重んじた保育が実践されるよう話し合いと検討がなされている。
Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	個人情報保護規程、運営規程においてプライバシーの保護が謳われている。子どもと保護者への言動や行動については特に配慮し、利用者を傷つけることのないよう指導に努めている。
Ⅲ－１－（２） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ－１－（２）－① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	法人および園のホームページにより園の概要や保育方針を周知している。また見学者に対してはパンフレットを配布し、園への理解が深まるよう取り組んでいる。
Ⅲ－１－（２）－② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a	入園にあたっては説明会と同日に個別面談を開催し、説明と情報収集の双方にあっている。重要事項説明書を用いてわかりやすい説明に努めており、保護者・子どもの双方が安心して入園できるよう配慮に努めている。
Ⅲ－１－（２）－③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	就学先とは、研修や見学を通して関係を構築し、連携を図りながら進めている。今後は卒園児数が増えていくことから更なる配慮や取り組みの必要性を認識している。
Ⅲ－１－（３） 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ－１－（３）－① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	行事实施後には保護者にアンケートを実施し、意向の把握に努めている。集計結果の掲示、質問への回答など丁寧な対応がなされており、意見をとり入れた運営となるよう取り組んでいる。
Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	苦情解決方法については園内への文書掲示を通して周知を図っている。苦情解決第三者委員に対しても協力を仰ぎ、より良い運営が図れるよう配慮している。
Ⅲ－１－（４）－② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	玄関に意見箱を設置し、広く保護者からの意見を募れるよう配慮している。意見に対する回答は掲示するなど他の保護者に対しても周知し、開かれた園となるよう取り組んでいる。
Ⅲ－１－（４）－③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	苦情解決体制が整備されており、迅速な回答をもって解決を図るよう取り組んでいる。園側からコミュニケーションを図り、信頼関係を構築したうえで話し合いができるよう務めている。
Ⅲ－１－（５） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		

<p>Ⅲ－１－（５）－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>a</p>	<p>事故報告書、ヒヤリハット報告書を整備しており、時間別、クラス別等の集計を分析しながらリスクマネジメントにあっている。クラスだけで情報をとどめることなく、園全体で把握できるよう情報伝達システムの整備にあっている。</p>
<p>Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>看護師を中心に感染症防止対策にあっており、消毒を含めた日々の細やかな清掃、噴霧器を使用した衛生対策などがなされている。保護者に対しても情報の提供と注意喚起をし、連携しながら蔓延防止に努めている。</p>
<p>Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>避難訓練が毎月実施されており、備蓄や備品の整備を含め、火災等万一の事態に備えている。また避難訓練とは別個に防犯訓練も実施されており、不審者等不測の事態に対して職員の対応が徹底するよう取り組んでいる。今後は保護者の引き取り訓練を実施し、地震等への対応準備にあたる意向をもっている。</p>

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

<p>Ⅲ－２－（１） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
<p>Ⅲ－２－（１）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。</p>	<p>b</p>	<p>法人により、行動規範・就業規則・個人情報保護規程・運営規程等の規程や緊急対応マニュアル等の手順書が整備されている。また園内においてはシフト別の業務について留意事項が規定されている。法人全体として業務の標準化にあっており、統一のマニュアル設置等が検討されている。</p>
<p>Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>b</p>	<p>規程や手順書の改訂時には法人より周知がなされており、常時最新の状態が保たれるよう取り組んでいる。法人内各園の独自性と法人全体での標準化の双方を両立させるよう努めている。</p>
<p>Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
<p>Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。</p>	<p>a</p>	<p>各クラスの責任者により毎年度、年間指導計画が策定されている。園の方針に沿うようまた保育にねらいを持つよう意識した計画が策定されている。計画が複雑になりすぎないように指導がなされており、わかりやすく・共有しやすいよう書式等の工夫がなされている。</p>
<p>Ⅲ－２－（２）－③ 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>月・週の指導計画は、反省と評価がなされており、振り返りの内容を次期計画に反映できるよう努めている。書式を埋めるだけの作業とならないよう、目標とねらいをもった策定となるよう指導にあっている。</p>
<p>Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
<p>Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	<p>a</p>	<p>職員の負担軽減が図れるよう書式の簡素化が図られており、開園より工夫と改善が積み重ねられている。職員交代時の引き継ぎやプール等のリスクに留意する活動については特に職員間の情報共有を意識し、日頃より「報告・連絡・相談」の大切さの指導にあっている。</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>a</p>	<p>運営規程に記録の保存年限を定め、適切な管理となるよう取り組んでいる。鍵のかかる書庫での保管、パソコンのパスワード設定等情報保護に対して十分な取り組みがなされている。</p>

	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。	a	法人の理念を基本の柱とし、各領域・期間において具体的目標を設定した保育全体の計画が策定されている。特に「地域への行事参加」、「特色ある保育」について独自の課題を持ち、園としての進化が図れるよう取り組んでいる。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と養育の一体的展開		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	徹底した消毒と清掃、温度・湿度管理により快適な空間となっている。ドア等の安全対策、乳児クラスの床暖房設置、運動やプール活動ができる屋上など安全と健康に配慮された環境が整えられている。
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	「待つ保育」の実践を標榜しており、クラス内外での職員間の連携をもって取り組んでいる。またすべての子どもに対して関わりが少なくなることはないよう視野の広さと配慮をもつよう指導にあたっている。
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	家庭の意向を尊重し、連絡・確認しながら基本的な生活習慣の習得に取り組んでいる。保護者が抱えるプレッシャーが軽減されるよう・子どもたち一人ひとりの個性・発達・発育に鑑みながら、適切な時期と方法に配慮して支援に努めている。
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	子どもたちが自由にそして遊び込める空間を提供できるよう保育の見直しを進めている。コーナー保育についても子どもたちにわかりやすいよう玩具の配置等を工夫し、自然に遊びが展開できることを理想としている。今後も引き続き職員への指導を継続し、取り組みを発展させる意向をもってしている。
A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	連絡帳や登降園時のコミュニケーションを通して家庭と連携した保育を実践するよう努めている。職員と子どもが密接な関係を築けるよう人員配置がなされており、成長過程におけるそれぞれの時期を大切にして保育にあたるよう取り組んでいる。
A-1-(2)-⑥ 3歳児未満児（1・2歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	食事・排せつ・着替えなど身の回りのことに対して意欲と関心をもち、成功体験を活かしながら生活習慣の習得ができるよう見守る保育の実践に取り組んでいる。また、子ども同士の関係性の中で互いに成長できる環境の整備に努めている。
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	行事や創作活動を取り入れながら友達の大切さ・一緒に行動する楽しさを学べるよう取り組んでいる。必要以上に介入せず、子ども同士の関係性や話し合うことの大切さを学べるよう成長が見守られている。
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	d	「該当なし」
A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	補食の提供・水分補給等により保育が長時間に渡るケースへの対応にあたっている。確実な引き継ぎにより情報を共有し、延長時間も安全・安心に過ごせるよう環境への配慮に努めている。

<p>A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>段階をおった午睡時間の縮小など就学への準備を進めている。連絡会や研修など小学校との交流を通して関係性を構築し、継続性に配慮している。小学校からの情報をもとに特に立位で着替え等ができるよう取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
<p>A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>与薬の管理等看護師を中心に子どもたちの健康管理に取り組んでおり、適切な処置と職員への指導にあたっている。感染症等についても掲示により保護者に周知し、注意喚起により予防に努めている。</p>
<p>A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。</p>	<p>a</p>	<p>検診および身体測定の結果は「健康ノート」に納められており、毎月の配布により保護者への確認を行っている。また児童表には健康および成長の記録が細かに記録されており、子どもたちの成長をつぶさに振り返ることができる。</p>
<p>A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>保護者・管理職・調理部門による面談を実施し、家庭と連携してアレルギー対応にあたっている。食材および摂食環境に配慮し、安全な食事提供に取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(4) 食事</p>		
<p>A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	<p>a</p>	<p>毎月の給食会議において子どもたちの嗜好や残食結果を検討している。旬な食材を用いた季節感あふれるメニューの提供に尽力しており、見た目にも色鮮やかな食事となるよう取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>	<p>a</p>	<p>クッキー作り・野菜の栽培など子どもたちが食を身近に感じられる活動が実施されており、高齢児を中心に食育に注力している。年齢に即した食器の使用など配慮がなされており、食育計画に即しながら進められている。</p>

A-2 子育て支援

	第三者評価結果	コメント
<p>A-2-(1) 家庭との緊密な連携</p>		
<p>A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>連絡帳・ホワイトボードを活用し、日々の活動を伝えており、登降園時にコミュニケーションを図るよう努めている。保護者が実際に保育を体験する「保育参加」は保護者の就労への都合を考慮し、長期間開催するなど配慮がなされている。</p>
<p>A-2-(2) 保護者等の支援</p>		
<p>A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>保育参加後に実施する個人面談、意見箱の設置をはじめ、保護者が園に相談ができる機会を設けている。また法人の顧問弁護士への相談など現場へのバックアップ体制が整備されている。</p>
<p>A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>a</p>	<p>登園および着替え時の視診等により子どもたちの健康と安全を見守っている。配慮の必要な事項については職員間で情報を共有し、適切な対応が図れるよう努めている。</p>

A-3 保育の質の向上

	第三者評価結果	コメント
<p>A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）</p>		

<p>A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	<p>a</p>	<p>目標管理制度に基づく、自己評価を実施している。職員の保育力向上だけでなく、法人や園の方針の浸透が図れるよう取り組んでいる。</p>
--	----------	--